

平成 30 年度事業報告

◎法人本部

◎生活介護事業所 こころの結

◎共同生活援助事業所 こころの結

◎日中一時支援事業

◎特定相談支援事業・障害児相談支援事業

社会福祉法人結の会

1 社会福祉法人結の会事業報告

社会福祉法人結の会定款に基づき、個人の尊厳を保持し、地域における自立した日常生活を営むことができるよう、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、身体的機能や生活能力の向上のために必要な総合的支援に努めました。

(1) 評議員会の開催

① 第1回：平成30年6月25日

- ・平成29年度事業報告の承認について
- ・平成29年度計算書類（案）及び附属明細書（案）並びに財産目録（案）の承認について
- ・理事長及び業務執行理事の職務執行の状況報告

② 第2回：平成31年3月25日

- ・平成30年度補正予算（案）について
- ・2019年度事業計画（案）について
- ・2019年度収支予算(案)について
- ・理事長及び業務執行理事の職務執行の状況報告

(2) 理事会の開催

① 第1回：平成30年5月21日

- ・平成29年度事業報告（案）の承認について
- ・平成29年度計算書類（案）及び附属明細書（案）並びに財産目録（案）の承認について
- ・定時評議員会の招集決定について

② 第2回 平成31年3月25日

- ・社会福祉法人結の会 経理規程の一部改正(案)について
- ・社会福祉法人結の会 個人情報保護規程(案)の制定について
- ・社会福祉法人結の会 特定個人情報取扱規程(案)の制定について
- ・社会福祉法人結の会 就業規則の一部改正(案)について
- ・社会福祉法人結の会 パートタイマー等就業規則の一部改正(案)について
- ・社会福祉法人結の会 給与規程の一部改正(案)について
- ・平成30年度 収支補正予算書(案)について
- ・2019年度事業計画(案)について
- ・2019年度資金収支予算書(案)
- ・臨時評議員会の開催について
- ・理事長及び業務執行理事の職務執行の状況報告

(3) 第2種社会福祉事業の実施

- ① 生活介護事業所 こころの結の運営
- ② 共同生活介護事業所 こころの結の運営
- ③ 地域活動支援センター こころの結（日中一時支援事業）の運営
- ④ 特定相談支援事業所 こころの結の運営
- ⑤ 障害児相談支援事業所 こころの結の運営

2 生活介護事業所 こころの結 事業報告

こころの結管理運営規程に基づき、日課や週計画、年間計画を積極的且つ計画的に遂行し、利用者の地域における自立した生活に向けての快適な環境・安全衛生の確保に配慮し、軽作業やグループ活動・レクリエーション等に積極的に取り組みました。

より適切な支援を行なうために、利用者全員の個別支援計画を作成し、保護者に説明し、利用者の現状を理解・協力を促しました。

軽作業では、農耕、パン・クッキー作りと委託作業（ハンガー・金具・タッパー等）を行い、分担しあいながら進めていきました。

レクリエーション活動では、年間計画に基づいて、さまざまな行事に参加し楽しむことができました。

グループ活動では、2グループに分かれ、それぞれが目的を持ちながら楽しんで活動ができました。

利用者の会では、毎月実施し、行事の計画や反省やさまざまな話し合いを行いました。毎月の初めに身体測定を行なうことにより、利用者の健康状態の把握に努めるようにしました。

(1) 入退所状況 (H.30.4.1～H.31.3.31)

(単位:人)

区分/月		H.31 3.31	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所	男													
	女													1
退所	男													
	女				1									
現員	男	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
	女	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	12
	計	36	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	36

(2) 利用状況 (H.30.4.1～H.31.3.31)

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	648	664	684	673	624	540	687	665	590	600	593	627
月平均	32	31	32	32	31	30	31	31	31	31	31	31

(3) 利用者の年齢

(単位:人)

年齢	男子	女子	計
15～19歳	0	1	1
20～29歳	12	3	15
30～39歳	10	1	11
40～49歳	1	2	3
50～59歳	1	5	6
60歳以上	0	0	0
計	24	12	36

(4) 通所の方法

(単位:人)

区 分	送迎車	電車・バス	自転車	徒歩 ※	自家用車	計
男子	19			4	1	24
女子	5			5	2	12
計	24			9	3	36

※グループホーム利用者も含む

(5) 障害支援区分

区 分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男子	0	0	4	16	4	24
女子	0	1	4	4	3	12
計	0	1	8	20	7	36

(6) 生活の支援

担当制を設けて、担当による利用者に対する個別相談や日常生活支援を家庭との連携を持ちながら実施しました。グループ活動や利用者の会等の活動を通じて自主性や協調性を培い、各種の行事を通じて集団生活のルールなどを学び、社会適応能力を高めました。

① グループ活動

<創作グループ>

陶 芸	干支づくりで春頃から取り組み余裕をもって作ることができた。気候が良い時期に大人数で取り組む機会が増えました
書 道	じっくり取り組むことができ、地域の作品展等にも出品することができた。
さをり織	働きかけにより、さをり織りに参加してもらえる人が数名増えました。小物の作品づくりに向け、さをり織りに取り組むことができました。
カラオケ	ほとんどの方が楽しんで参加できている。参加しづらい人は作業室など静かな場所で個々の過ごしやすい方法をとりました。
環境整備	季節の良い時期には皆で草を取り、きれいにすることができました。
ポストカード・掲示物	(ポストカード)ポストカードはシール貼りを中心に行なった。用意した絵や線画の中に貼る事が難しく、思い思いにシールを貼ってもらいました。(掲示物)楽しんで参加してもらえる人が多くなりました。

<スポーツクラブ>

活動内容	(ソフトボール) ふれあいソフトボール大会が4月24日に開催され、練習は4月に集中的に行いました。
	(カラオケ) 創作グループと合同で行い、気分転換につながりました。水曜日のカラオケが定着し、楽しみにしている人が多くなりました。通信カラオケで曲の選択肢が増え、新しい曲に挑戦して盛り上がることもありました。 (その他) 2月にはボーリング大会を実施しました。

② 利用者の会活動

毎月第4水曜日に行い、利用者の意見などを出す場として、また、さまざまな係を決めたり行事の計画や反省などを話し合いする場として行うようにしました。なるべく自分たちで決めることができるように援助を行うようにしました。

③ 実施行事

次のとおり、利用者のレクリエーションを中心に行事を実施し、各行事に参加することにより、楽しみながら生活体験を豊かにし社会性を育てるように努めました。

実施日	行事名	場所	参加者
4/24	ふれあいソフトボール大会	三重県身体障害者総合福祉センター	利用者 11名 応援 6名 職員 6名
6/4	グループ外出	王将	利用者 5名 職員 2名
6/7	グループ外出	コメダ珈琲	利用者 4名 職員 2名
6/11	グループ外出	コメダ珈琲	利用者 5名 職員 2名 実習生 1名
6/14	グループ外出	CoCo 老番屋	利用者 3名 職員 1名
6/18	グループ外出	ベビーフェイス	利用者 5名 職員 2名
6/20	グループ外出	ベビーフェイス	利用者 4名 職員 2名
6/21	グループ外出	王将	利用者 4名 職員 2名
6/25	グループ外出	びっくりドンキー	利用者 4名 職員 2名
6/27	グループ外出	びっくりドンキー	利用者 4名 職員 2名
8/30	音楽を楽しむ会	三重県総合文化センター	利用者 10名 職員 4名 実習生 1名
10/6	日帰りバス旅行	ラグーナテンボス	利用者 27名 家族 21名 職員 13名
10/16	グループ外出	コメダ珈琲	利用者 3名 職員 1名
10/17	グループ外出	王将	利用者 4名 職員 2名

10/27	秋まつり	こころの結	利用者 33名 家族 28名 ボランティア 18名 職員 12名
11/5	グループ外出	王将	利用者 4名 職員 2名
11/6	グループ外出	王将	利用者 3名 職員 2名
11/8	グループ外出	王将	利用者 4名 職員 2名
11/12	グループ外出	コメダ珈琲	利用者 4名 職員 2名
11/19	グループ外出	大里みかん園	利用者 9名 職員 5名
12/19	クリスマス会	こころの結	利用者 30名 職員 11名
12/21	大掃除	こころの結	利用者 30名 家族 20名 職員 14名
31.1/4	初詣	結城神社	利用者 30名 職員 15名
1/9	お七夜参り	高田本山寺内町	利用者 4名 職員 2名
1/10	お七夜参り	高田本山寺内町	利用者 4名 職員 2名
1/10	お七夜参り	高田本山寺内町	利用者 5名 職員 2名
1/11	お七夜参り	高田本山寺内町	利用者 4名 職員 2名
1/11	お七夜参り	高田本山寺内町	利用者 4名 職員 2名
1/11	お七夜参り	高田本山寺内町	利用者 4名 職員 2名
1/15	お七夜参り	高田本山寺内町	利用者 5名 職員 3名
1/15	お七夜参り	高田本山寺内町	利用者 3名 職員 2名
1/16	お七夜参り	高田本山寺内町	利用者 5名 職員 2名
2/25	グループ外出	コメダ珈琲	利用者 5名 職員 2名
2/27	グループ外出	イオン津南店（買物）	利用者 4名 職員 2名
3/4	グループ外出	壺番亭	利用者 4名

			職員 2名
3/6	グループ外出	びっくりドンキー	利用者 4名 職員 3名
3/7	グループ外出	ココス	利用者 4名 職員 2名
3/11	グループ外出	コメダ珈琲	
3/13	グループ外出	びっくりドンキー	利用者 4名 職員 2名
3/18	グループ外出	王将	利用者 4名 職員 2名

※毎週/水曜日の午後からは音楽療法やカラオケ、環境美化活動等を行いました。

(7) 作業分担と作業種目

① パン販売

パン・クッキー等の製造において、主にパン生地丸めや成形、パンの袋とじの工程に携わってもらいました。また、冷蔵庫からの材料の取り出し、オープンへの出し入れなども手伝ってもらいました。

パン販売は、利用者が楽しみにしており、「売れた」「美味しい」と感想をもらえることが作業へのモチベーションに繋がってきています。

<利用者>

パン作り：3名参加、販売：7名程度参加

<販売先>

高齢者施設、保健福祉センター、特別支援学校、公共施設

② 金具作業

<作業内容>

金具の組み合わせ、ネジ分け(2本)、袋入れ、ホッチキス留め等

ひとり一人の作業能力に応じて、単工程、全工程を各自できることに取り組んでいます。

準備から作業、片付けまでできる人がほとんどで、正確に取り組んでもらっている。納品は、利用者も数名同行し、その人に応じた方法で携わってもらっています。

<生産量>

4500～1500個/週 1個：1.4円 (納品日は火曜日)

③ 洗濯用具組立・梱包作業 (納品日は金曜日)

作業によっては限られた人しか取り組めないこともあるが、ピンチ類の時は組み合わせ、フック付けや台紙に挟み込む工程や完成品の数を取る等の多くの人が取り組むことができました。10連ハンガーの発注が多くなり、材料や完成品でかなりスペースが必要となり、足元も危険な為、整理と工程バランスを考え、利用者さんが怪我をしないよう配慮に努めました。

④ 日用品組立・梱包作業 (納品日は不定期)

作業内容は毎回変わる時と、以前と同じ物が来る時があり、新鮮な気持ちで取り組むことができました。取り組める工程が少ないので、取り組めるように内容を増やすため、工程を細分化して、個々にあった作業内容を提供できるようにしました。

納品は業者が直接事業所に来てくれるので、荷下ろし・積み込み等の作業に利用者が手伝っています。

(8) 健康管理及び保健衛生

毎月1日に体重測定を実施しました。看護師・生活支援員によるバイタルチェックは毎日行い、体調管理に努めました。また、昼食後には自発的に歯磨きをするように促し、これを毎日の習慣としました。

毎日のウォーキング後や作業終了時は手洗い・うがいをし、風邪等の予防に努めた。

6月28日に利用者の健康診断（巡回車）を実施しました。

嘱託医は、年4回来所し利用者の様子を見てもらい、平成29年3月には嘱託医の健康診断を実施しました。

(9) 地域交流

① ボランティアの受入れ

各行事の中で、利用者との交流等のボランティア活動をしていただき、交流を深めることができました。

② 実習生の受入れ

・社会福祉士実習：各短期大学生4名

利用者の作業工程における援助活動や生活支援を行ない、マンパワーの育成を図ることができました。

・音楽療法体験実習：各短期大学生10名

利用者との音楽療法体験の中で、利用者との交流を図ることができました。

③ 小学校との交流

10月：2班に分かれて、施設見学や一緒に作業体験をしてもらいました。

11月：小学校の体育館へ行き、ゲームを一緒に楽しみ、交流を深めることができました。

5年生、6年生のお花クラブ（5名）が訪問してくれ、食堂・喫茶コーナーに花を活けていただきました。

④ 各特別支援学校高等部生徒の実習受入れ

特別支援学校高等部生徒：2名

⑤ 人権についての授業研修

小学校へ出向き、授業の中で、児童生徒に障がいについての話をし、障がい者への理解を図ることができました。

(10) 各種会議

施設内会議を下記のとおり定期的に行いました。

会 議	実施（曜）日	会 議	実施（曜）日
職員打ち合わせ会	毎夕	給食会議	第1木曜日 PM
支援会議	第1火曜日 17:30～	職員会議	第4火曜日 17:30～
個別支援会議	第3火曜日 17:30～		

(11) 防災・避難訓練

避難訓練の実施：6月、11月（スプリンクラーの点検等）

(12) 職員研修

三重県社会福祉協議会が主催する各種研修会や三重県知的障害者福祉協会、全日本自閉症支援者協会主催の研修会等に参加し、職員の資質向上を図ることができました。

実施日	研 修 会 名	場 所	参加者
6/15	平成30年度三知協新任職員研修会	三重県社会福祉会館	職員 1名
7/6	職場内研修 「障害者差別解消法について」	こころの結 食堂	職員 11名
7/24～7/25	三重県相談支援従事者初任者研修	三重県総合福祉センター	職員 1名
8/28	コミュニティソーシャルワーク 入門研修	三重県地方自治労働文化センター	職員 1名
9/12	「障がいのある人の距離感を学ぶ」 研修会	四日市市文化会館	職員 1名
10/18	「発達に困難のある人への性教育」 研修会	四日市市文化会館	職員 2名
10/22～10/23	全日本自閉症支援者協会 研究大会三重大会	アスト津	職員 3名
10/31	三重県サービス管理責任者等研修会 (共通講義)	総合文化センター	職員 2名
11/13～11/14	三重県サービス管理責任者等研修会	三重県庁・講堂	職員 1名
11/21～10/22	三重県サービス管理責任者等研修会	三重県庁・講堂	職員 1名
10/14・21	社会福祉士実習指導者講習会	桑名市民会館	職員 1名
11/8	会計セミナー	三重県総合文化センター	職員 1名
H31 1/9	平成30年度三重県障害者虐待防止 権利擁護研修	三重県庁・講堂	職員 1名
2/7	食品衛生責任者養成講習会	県津庁舎	職員 1名
2/13	平成30年度退職手当共済制度実務 研修会	三重県総合文化センター	職員 1名
10/31	「サービスの質について考える」研修 会	三重県いなば園	職員 1名

3 日中一時支援事業 報告

平成30年度も引き続き、津市、鈴鹿市、亀山市から委託を受け、日中一時支援事業を実施しました。利用者の状況や置かれている環境等の状況に応じて、利用者の立場に立った適切な支援を行ないました。

(平成30年度 利用状況)

(単位：日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障がい児 利用日数	3			5	20				4	2		8	42
障がい者 利用日数	27	30	27	26	9	8	11	9	11	10	8	8	184
計	30	30	27	31	29	8	11	9	15	12	8	16	226

※障がい者の利用は、週4回定期的に利用している人と就労継続支援B型に通われている2名が週1回利用している。

4 共同生活援助事業 ところの結 報告

(1) 概況

休日は毎週土曜日にヘルパー支援を受けて外出する人、また自分で公園まで散歩したり、スーパーへ買い物に行ったり、部屋でゆっくりとテレビを見たり、CDを聞いたりして休日を過ごしている人、毎週自宅に帰る人等休日の過ごし方はいろいろです。

(2) 利用者の状況

① 障害支援区分

(単位：人)

区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男子			1	2	1	4
女子			1	1	2	4
計			2	3	3	8

② 利用者の年齢

(単位：人)

年齢	男子	女子	計
20～29歳	2		2
30～39歳	1		1
40～49歳			
50～59歳	1	4	5
計	4	4	8

③ 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男子棟	89	90	90	97	84	80	97	100	82	93	93	90	1,085
女子棟	86	94	91	98	90	86	100	105	97	98	101	119	1,165
計	175	184	181	195	174	166	197	205	179	191	194	209	2,250

5 特定相談支援事業・障害児相談支援事業 報告

(1) 概況

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して指定計画支援サービス等を行いました。

以上の運営方針に沿って、電話相談、巡回相談（訪問）、外来相談を行いました。

(2) 契約者の状況

<障がい児>	契約者数
幼稚園・保育園	6名
特別支援学級（小・中学校）	14名
特別支援学校	15名
重症心身（在宅）	2名
入院	2名
合計	39名
<障がい者>	契約者数
入所（入院も含む）	2名
生活介護	42名
就労移行支援事業	0名
就労継続支援 A 型	3名
就労継続支援 B 型	8名
就労	1名
在宅	3名
合計	59名

(3) 計画相談支援

- ① サービス利用支援（計画作成） 96件
- ② 継続サービス利用支援（モニタリング） 64件

(4) 利用者の状況

電話や会議は昨年度と変わらない状況でした。特別支援学校卒業後どこにも通えなくなり、在宅で生活を送っている人や放課後等デイサービス事業所が閉鎖になる事業所があり、利用で困ってくる人等がありました。利用者・家族の状況で関係機関と連携を図りながら、支援を行いました。

平成30年度の新規利用者は、4名（児童:2名、成人:2名）でした。

利用者の状況	利用者数
他県へ引越した人	1名
介護保険へ移行した人	3名
他の事業所に計画相談を移行した人	6名
サービス終了の人	4名